

# 浜頓別町国民健康保険病院 新病院基本構想（概要版）

## はじめに～基本構想策定の経緯

現病院は、建築から40年以上が経過し施設・設備の老朽化が著しく、近年も非常用発電機や高圧受変電設備など修繕費用が増大しているとともに、今後も消防設備設置義務の経過年限も数年先に迫る中、現施設では、療養環境の整備が困難なことから、新病院施設の整備が必要となっています。

## 浜頓別町国民健康保険病院の現状

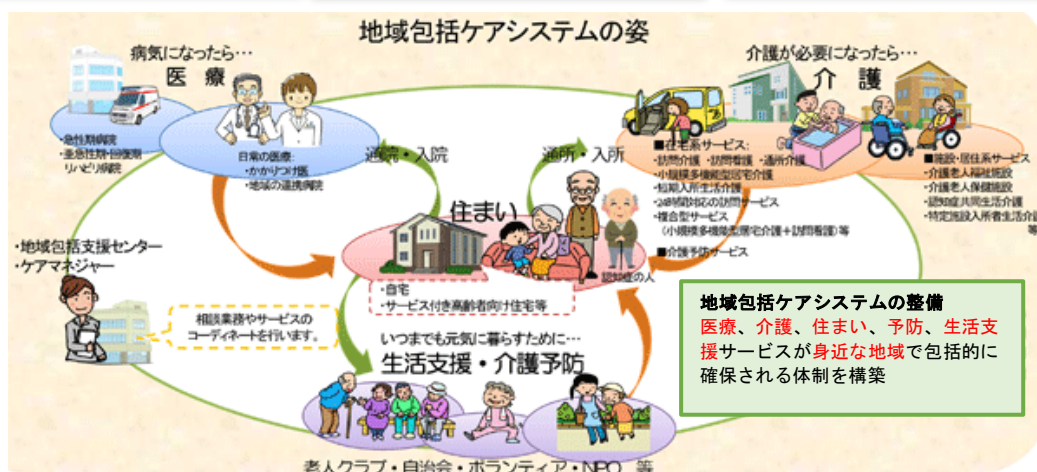
名称	浜頓別町国民健康保険病院
開設年月日	昭和32年8月12日 (現施設診療開始 昭和52年11月14日)
所在地	北海道枝幸郡浜頓別町旭ヶ丘3丁目3番地
診療科目	内科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、小児科
病床数等	一般40床(平成29年10月～) ※回復期40床
建物等	鉄骨造2階建+塔屋 建築面積 1,710㎡ 延床面積 3,423㎡ 駐車場 患者用38台 職員用36台 敷地面積 11,790㎡
職員数	64人(正職員39人 臨時職員25人) 職員構成:常勤医師2名 看護師・准看護師28人ほか (令和元年9月現在)

## 1 新病院の役割

町内で入院機能を提供する唯一の医療機関として地域医療を確保するため、現在の診療科目を継続します。

町内の介護福祉施設等との連携を強化し、在宅医療、リハビリテーション機能の充実を図り、地域包括ケアシステムの推進に寄与します。

大規模災害時等において、医療活動を継続できる体制を確保し、地域医療の砦として拠点施設の役割を担います。



## 2 新病院の主要機能

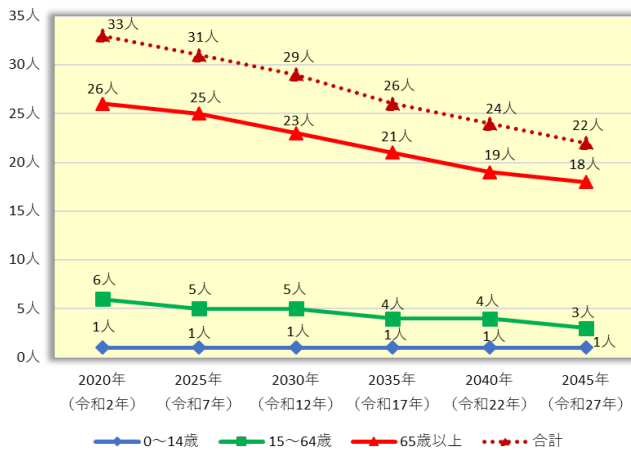
保健衛生や予防医療、在宅支援も踏まえた初期診療から慢性期診療まで幅広く担う地域の拠点医療機関としての機能



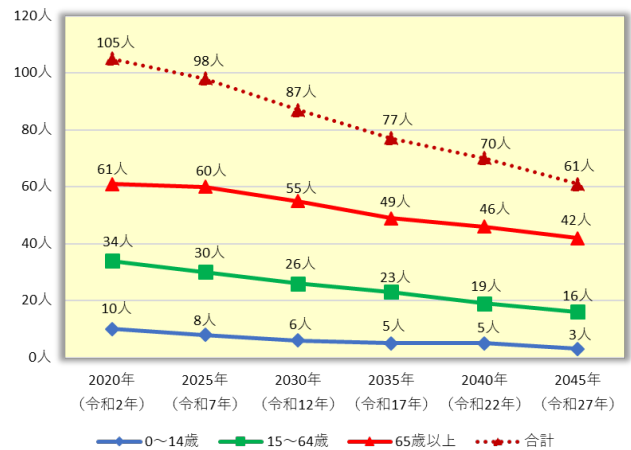
## 3 新病院の規模

- 町内の将来人口推計や北海道の年齢階級別受療率に基づく町内利用患者数の推計では、2030年（令和12年）には入院29人、外来87人になると想定されます。
- 病床数は病床利用率や救急時の入院需要等勘案し、外来患者数も将来の医療圏内の施設の動向や高齢化による受療率の増加等を見込むことが必要と考えます。
- 新病院の規模を、現行どおり、**病床数を40床、外来患者数100人規模**とします。

町内利用想定入院患者数



町内利用想定外来患者数



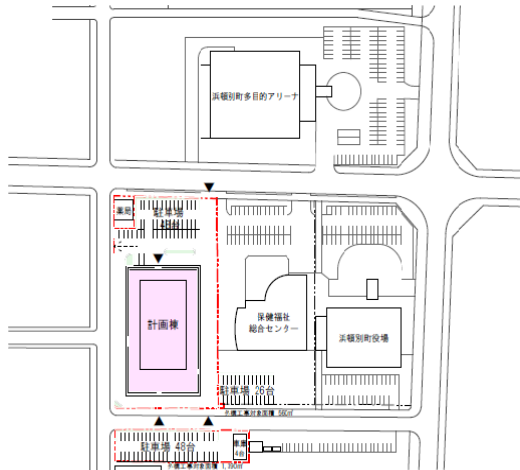
## 4 新病院の診療体制

- 診療科目は現行どおり、内科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、小児科の6科を標榜します。
- 医療機器は、CT装置やX線TV装置等の画像診断装置、内視鏡、超音波装置、心電図等生理機能装置については現状を維持します。

## 5 建設候補地

○現在地における改築は多くの費用と時間を要するとともに工事中も様々な影響を受けることから療養環境の確保が難しく移転して改築する方が望ましい。

○建設候補地は、町の中心に位置し、利便性が高いと考えられる2案を上げています。



### ①保健福祉総合センター横

所 在 枝幸郡浜頓別町中央南3番地  
敷地面積 約7,090㎡

### ②浜頓別町多目的アリーナ横

所 在 枝幸郡浜頓別町中央北  
19番地、20番地、29番地1  
敷地面積 約16,500㎡



○建設候補地は、地域の医療提供体制の在り方についての議論の経過を踏まえ結論を出すこととしています。

## 6 整備スケジュール

令和2年度

令和3年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

基本計画

基本設計

実施設計

建築工事  
(着工)

建築工事  
(完成)

新病院開設

○基本計画において、施設整備の詳細な方針や施設整備、医療機器整備計画、職員配置計画や新病院開設後の収支計画について検討を進めてまいります。